

TOWN INFORMATION MAGAZINE

ふいにすた・小樽



4

¥200

目 次

寄稿 ありがとう

- ・私の小樽観 土屋 周三 -- 7
小樽に来てみて、つくづく大都市で生活している人々があわれに思える。
- ・ふるさとは近くにありて 峰山 富美 -- 8
小樽は細やかな人情の街で、四季おりおりの眺めも美しく、食べ物がまたおいしい。
- ・記録・それだけではない小樽 志佐 公道 -- 9
……しかし、写真に残しておくという事はあくまでも手段でしかないのである……
- ・僕にとっての小樽 九州男児の弁 村上 元哉 -- 10
「お前は東北まで行っちゃった、なんし北海道に一べんぐれ行っちみらんのか」などと…
- ・記憶の中の暑さ寒さ 森本 光子 -- 13
兄と二人で運河に糸をたれて、カニをとっている姿がまるで乾書のように浮んでくる。
- ・滝川からのメッセージ 小黒 弘 -- 14
小樽から話とあればとしぶしぶ小説「河原祭」の事でも書いてやれ！
- ・麦わら帽子のひとりごと 初夏の風にのせて 今野 由美 -- 21
運河を歩いている旅人を見るとなぜか無性に話しかけてみたくなるのです。

好評連載

- ・八十円紀行「最上線」 「桜！」「桜！」 地獄坂は桜祭りじゃ！ ----- 2
- ・ロシア珍道中 その③ ソチの海岸うつぶせの恐怖 ----- 12
- ・小樽・銭湯めぐり 玉の湯 の巻 ----- 18

小樽の街を歩くときの生活情報

INFORMATION

まち・みせ・あじ
PICKUPS

肉弾直撃

旅に出よう

お料理コーナー

BOOKS

レコードのページ

集まれ!! '79ポートフェスティバル

“INTERVIEW” INTERVIEW

INTERVIEW 話し手 志田 律三さん - 4



ポカポカと暖かくなりましたネ
昼寝でもしに公園など行ってみませんか

小樽・八十円紀行

最上線

桜！ 春！

桜です！ 春です！

今は暖ったかくなつた事だし
年中長い咲きのモクラ
お山へ散歩です。

月都通りから

静屋通りへ

君と二人で歩けばアー
と、はやりそうもない歌を口ずさみ

警察署前から最上線に乗り込む

バスは一路お山へ お山へ

なんと小樽で一番早く咲くと評判の

警察署前の桜はもう満々開く

おお！ 真正公理会の桜も

おまけに警察署の桜も……

地獄坂は桜祭りヒヤ！

富岡教会横目でながめ

住宅街に入ると桜が 桜が……

あつちもこつちも……

あり頭が 頭が……

完全に咲き狂う！



と、さうするうちに終点
ひきしくスキーヤーにも来れないし
天狗さんはごぶきたしてたら
へー新興住宅街だね、ホント



桜

バスを降りて一古ノ

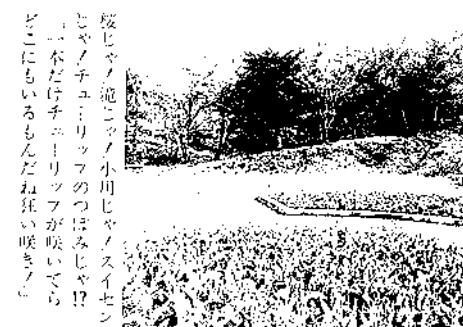
おなじみ本誌カメラマン君
「そんなに桜が好きなら桜町に行けば
よかつたね」と
別にオモシロクもなんともないので再び無視

桜

するとしつこく本誌カメラマン君
「ブーテンの宿さんだねまるで」
全くオモシロクもなんともないので再び無視

桜

おなじみ本誌カメラマン君
「そんなに桜が好きなら桜町に行けば
よかつたね」と
別にオモシロクもなんともないので再び無視



手づくりの店 手づくりの味

土蔵屋

とまこまい 大町旭館通り てんわ 36-0955

自家焙煎珈琲

……コーヒーだけの店……

あとりゑ

小樽市稻穂2丁目16番9号
phone 32-8686

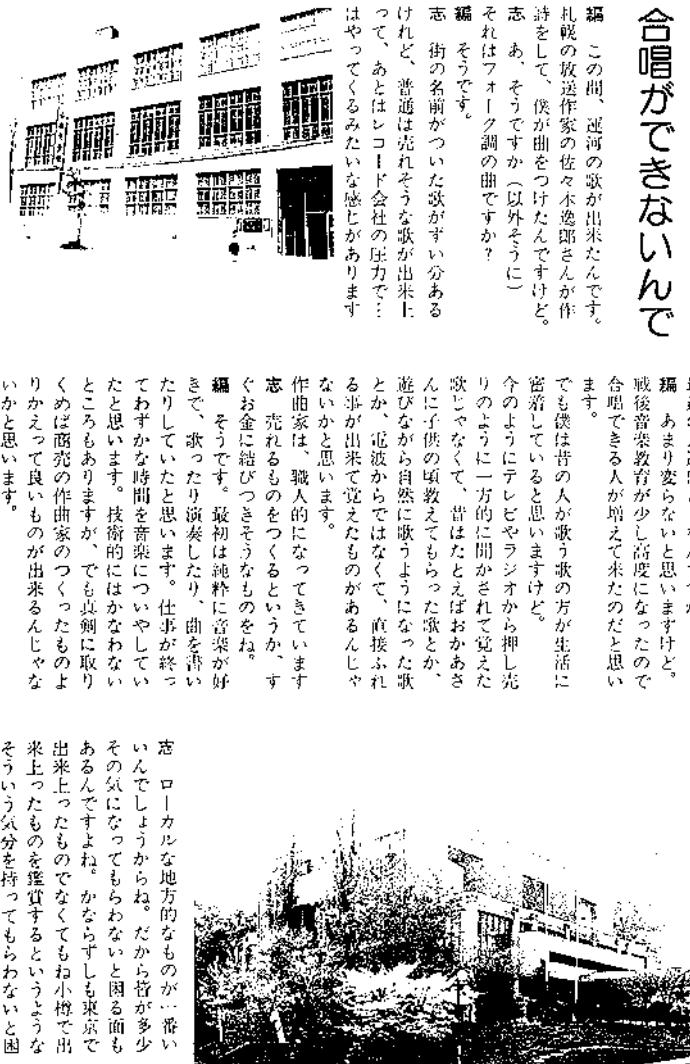
ANTIQUE
& HAND MADE

小樽市稻穂2丁目17番17号 ■ 34-0040

戯屋留堂

jshii
OTARU
画材専門店
石井ガクブチ店

小樽市花園1-10-1 TEL. 23-2492-324374



我々戦前派は音を重ねる

編 半分は冗談じやないんですか。
志 とにかく小樽は絵になるところで
すよね。

編　　そうです。最初は純粹に音楽が好きで、歌ったり演奏したり、曲を書いたりして、いたり思っています。仕事が終った後で、わざかな時間に音楽についてやして、いたり思います。技術的にはかなわないところもありますが、でも真剣に取り組んで、くめは商売の作曲家のつくったものよりもかえって良いものが出来るんじやないかと思います。

時をして、僕が曲をつけたんですけど。
志あ、そうですか（以外そうに）
それはフォーク調の曲ですか？
そうです。

合唱ができないんで
編 この間、運河の歌が出来たんです。
九義の改善作家の佐々木急那さんです。

編 半分は冗談じやないんですか。
志 とにかく小説は絵になるところで
とおんなが美しいと書いた方がいいつ
て『笑い』
すよね。

瑞 そうですね。
志 どうですかね、我々減刑派はほとんど歌が歌えないっていうていうか、特に高
い声をなるっていうのなら理想的だと思
いますね。

窓 口一ヵ所から光が入る。だから窓が多少多いのでしょうかね。だから窓が多少多いのでしょうかね。その気になつてもらわないので困る面があるんですね。かならずしも東京で出上りたものでなくともね小樽で出来上ったものを鑑賞するというような感じです。そういう気分を持つてももらわないで困る面があるんですね。

いいわけですよね、それが生活の中に根づいてさえいなければね。編
そうですね。
かならずしも中央へ駆かなくても、自分の住んでいる場所で地道にいつしょ
うけんめい活動していく方が本物の文
化が出来ると思います。

インタビュー

小樽は再び燃えるか

話し手 志田律三さん
手宮の北生病院々長を務めるかたわ
ら、音楽鑑賞協会々長、グリーンラ
イオンズクラブ会長などその他いろいろ
いろいろな方面で活躍中 天神町在住

志田さん まず最初に、志田さんの御出身はどこですか？
志田さん 生まれは福島で、育ったのは
は神奈川ですね。
編集 何年頃小樽に来られたのですか？
志 そうですね、昭和35年の終り頃
でね。もう20年近くもたっていますね。
編 一番最初はどこに住みついたので
すか？
志 福岡町に拓銀のテニスコートがあ

るんですけど、そのに向い側あたりにいたんです。それからすぐ大神町に家を建てて、ずっと今まで住んでいます。
編 志田さんは今、ドイツの小説を翻訳しているそうですが?
志ええ、マイヤーという人の作品なんんですけど。マイマーはスイス人で、チューリッヒの出身ですね。
書かれているのは一八七〇年代の頃で、トルストイやドストエフスキイなんかと並んで同じ時代ですね。
編 まだ完成はしていないのですか?
志 だいたい終りまして、今度印刷屋に持っていて、月曜日10日に自費出版します。どうということなんですか?
70ページくらいの短編小説ですね、マイヤーのは「おまもり」というので、僕は「聖母の銀メダル」といって、僕はつけてなんですか? う題をつけたんですけど。

けど、ほかに多勢の協力者がいます。編 文学館設立の目的があると思いますが、主にどんな事ですか？

志 そうですね。かつて小樽という街は繁榮した街で、今までに小樽出身の人が、小林多喜二、伊藤整など、小樽から出た人が作家になつてゐる。人間の交流が多かつたわけですよね。たくさんの文学家がこの街を通り過ぎてゐている。いろんな足跡を残してゐる。そういう資料を集めさせておいて、若い人達がドントンあの文学館で、小樽の偉大さをといりますか、そういうふうに自信を持つて、その中からかならず将来文学家が出て行くことにもかかわるし、小樽自身に愛着を持つて、か、そういう事でもいいと思うし、いろいろ意味があると思います。

編 何か問題点なんかもしれませんか？

志 この間、新聞では開館時間の問題

が多いと思いますが。
志　ええ、運河はよく歩きます。
だいたい月に一枚位ずつ歩いています。
すけど、

編　小樽は絶くとも、適した風景
を持つてゐるんですね。

志　そうだと思いますね。
小樽はだいたい海もきれいだし、山も
きれいだし。

編　波道を登りながら、どこを見渡して
みても絵になるんですね。

志　海と山が美しい小樽の街を心のや
とりにある人々の街にしたい――といふ
ような標語みたいなものを見ておいて、
て、医大の川村教授という整形の教諭が
いるんですけど、詩人としても通の歌
いて、オリンピックの歌で「虹」とか
のバラードにの作詩者なんですけど、
その彼に聞いてみたら、海がきれいな
ら山もきれいなんだからね、海と山が

これは一つの不幸なかもしませんけど、僕らの生活は紅茶でもコーヒーやでも世界で一番うまいものを飲んだり食べたりしているんですね、それでやばり異邦が悪いんで、今先ほど話した19世紀のドイツ・スイス・あたりの事を考えていたのですが、ものすごく地方的なんですね、宗教なんかでもカルビンが歩いた跡、ルターが歩いた跡それぞれ違うんでね土地の人の方が、つい隣りの村でも全然違うというような事でものすごく世界が小さくなつたんですね。あまり世界が小さくなるとどうでもいい世間の出来事知つたり、考えたりする事も大手だけそれ以上に今現在住んでるところで自分の生活を良くしようとある意識や努力が大事ですね。新聞にしても、第一面に出ている政治欄や海外ニュースもそりや大事んですけど小樽版新聞など大手だと違うんだと思ふけど。

いところは非常に恵まれたところなんだから、その中でないかいるものが生まれてほしいですね。

編 話が變りますけど、今僕達は最低小樽で食べていけなくては、生活していかなくてはいけないという問題があるんです。運河は文化遺産だということは誰もが十分認めてくれるようになります。たとえば経済の方が言われる事は港の機能を高めの経済に結びつく、逆に運河を全国的に残して、こうすれば経済が浮上するといふ具体制的はどういかなくてはいけない一つに小樽を観光の街にしようという意見があるんですけど、観光都市とひと口に言つても、いろいろこれから具体的にどういかなくてはいけない問題があると思います。たとえば観光公售が起きないようにしなければいけませんね。志田さん何か意見がありますか?

志や、やはり良いからつぶすという事ではなくてね、そうじをするのに何億円かかるから出来ないんだって言わないとね少しだつでもやれただけでもやつて、せめて小樽の人のいい場にいるぐらの事はするべきだと思います。みんな事に使えると思うが、いろんな形で少なくとも自然にいろんな事になっていくと思いますけどね。

地方から盛り上つて行く文化を目指して



編 志田さんは音楽協議会の会長さんをなさっているそうですね。志田さんが設立されたのですか?

志 そうです。市民会館が出来た時にあの頃は音楽といいましたけど、出来上ったんですね。最近少し不振というか、初めはずい分勢いよく成長したんですけどね。一番言わいているモットーとしては、良い音楽を安く多くの人々に使っていく事なんですね。そういう意味ではずい分何回も音楽会をやってきたわけですね。ひと口に言えどお客様さんが入らないという事なんですね。最近は入場料も高くなつてきてているし

編 今現在不振というのは、お客様が集らないという事ですか?

志 そうですね。固定会員が多くなってきたわけですね。ひと口に言えどお客様さんが入らないという事なんですね。最近は入場料も高くなつてきていているし

編 小樽独自の良さみたいなものを認識して街づくりを考えていくことが大事ですね。

志 それだけやりがいがある仕事ですね。

私は小樽生まれでもないし又、小樽育ちでもない。初めて小樽の街を訪れたのは小学校での修学旅行、札幌、小樽に宿泊する二泊三日の旅行で、一日であつた。今の桜町辺であろうか。夕方バスに揃られ、港の方へ降りていく時に見た港の美しさは、今でも忘れることが出来ない程の印象をもつてゐる(私はそれまで、港というものを見た事がなかつた)。ほかにも、小樽の街を見ているはすだが、今思い出されるのは、三馬ゴム工場でのゴム長ダツを作つてゐる姿と、婦人に社名の入った給食を一本もらつたことくらいで、後はあまり思い出せない。札幌の街を見てから、小樽の街を見たせいもある。かく街としてのイメージの差を「この時、効心にも感じたのかかもしれない。

大都市東京、そこには日本各地からさまざまな人々が集まって生活している。合意を追ひ、いたるところ械化された街の中で生活している者にとって、故郷を思ふ心までも、大都市といふ得体の知れない怪物に飲みにされてしまいそうな気配さえ感じる。大都市で生活している人に旅行者が多く、運河といふ最近の調査結果は、大都市で生活している人々がより豊かな人間性を求めるがゆえのあらわれ、とみると云ふことは出来ないだろうか。東京の近くに鎌倉という町があるが、東京とは似てもつかない落ち着いた雰囲気がある。私も東京で生活していた時よく足を向いた町であるが、今頃の季節になると、西鎌倉駅から鎌倉駅までの古

岡本商店

やさい・くだもの

小樽入舟2-17

電話(33)2280

ちんま

花園1~6~4

嵐山中央通

てんわ32-4201

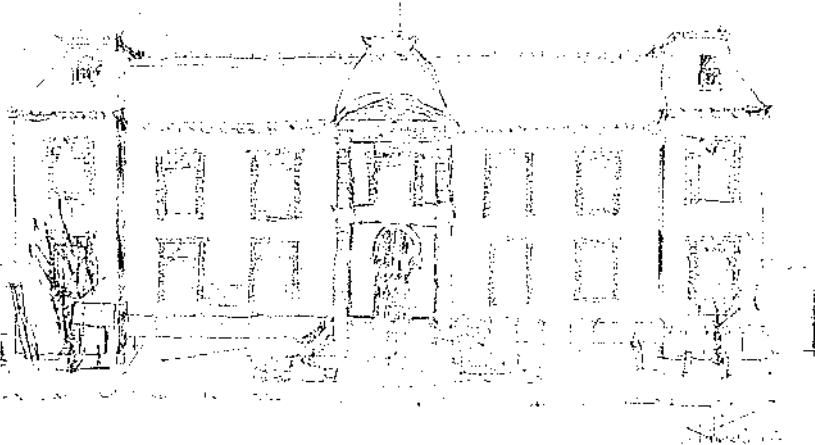
私の小樽観

土屋周三

プロフィール

昭和49年卒業

現在、小樽博物館学芸院をつとめる



私は小樽生まれでもないし又、小樽育ちでもない。初めて小樽の街を訪れたのは小学校での修学旅行、札幌、小樽に宿泊する二泊三日の旅行で、一日であつた。今の桜町辺であろうか。夕方バスに揃られ、港の方へ降りていく時に見た港の美しさは、今でも忘れることが出来ない程の印象をもつてゐる(私はそれまで、港というものを見た事がなかつた)。ほかにも、小樽の街を見ているはすだが、今思い出されるのは、三馬ゴム工場でのゴム長ダツを作つてゐる姿と、婦人に社名の入った給食を一本もらつたことくらいで、後はあまり思い出せない。札幌の街を見てから、小樽の街を見たせいもある。かく街としてのイメージの差を「この時、効心にも感じたのかかもしれない。

大都市東京、そこには日本各地からさまざまな人々が集まって生活している。合意を追ひ、いたるところ械化された街の中で生活している者にとって、故郷を思ふ心までも、大都市といふ得体の知れない怪物に飲みにされてしまいそうな気配さえ感じる。大都市で生活している人に旅行者が多く、運河といふ最近の調査結果は、大都市で生活している人々がより豊かな人間性を求めるがゆえのあらわれ、とみると云ふことは出来ないだろうか。東京の近くに鎌倉という町があるが、東京とは似てもつかない落ち着いた雰囲気がある。私も東京で生活していた時よく足を向いた町であるが、今頃の季節になると、西鎌倉駅から鎌倉駅までの古

寺や高台も高いんですね。ちょっとしたもので三千円、四千円という価格になりますからね。現在若い活動家を求めているんで、編 これからもいいコンサートを小樽で上演してもらいたいですね。

志 告うなればそうですね。やはり文化っていうのは地方から盛り上つていませんが、音楽の方でも、積極的に活動しているんですけど結局目指しているのは地方文化の発展ですね。

編 志田さんはいろいろ絵の方を写真で撮取ると同時に、自分達みずから創作していくのが大事ですね。志だから今の文学館にしても小樽出身のものを見たり聞いたりして、音楽の曲譜があってね、日本あるいは世界の本を読めるような体系が必要だしね。そしてそれが小樽の人々の栄養となり自分がこれまでこれから新しいものを作りだす。それに直ぐ小樽はコミュニケーションを持つにはいい大きさなんですね。よし、太陽会など、そういう事はあります。つまり、小樽でしたら何年たっても同じ人間が住んでいるわけですから、そういう意味でも小樽は少し考えます。つまり高台でも別位しか住んでいてないというか。小樽でしたら何年たっても同じ人間が住んでいるわけですから、そういう意味でも小樽は少し考えなくてはいけませんね。

編 小樽独自の良さみたいなものを認識して街づくりを考えていくことが大事ですね。

志 それだけやりがいがある仕事なんですね。

ふるさとは遠きにありて思うもの、昔い古されたことはながら、故郷をはなれてゐる者にとって、それは慕わしく、懐かしく、しかも鮮明によみがえるものである。

しかし日のあの跡地で、川で、浜邊ですこした日々の思い出は、單なる郷愁をこえて、それぞれの人生にかけをおとし、支えとなり力となつていることが多い。

しかし昨今の経済成長の中で、ふるさとは変貌し破壊されてゆく。高速道路がまちを縦断し、何の変遷もない建築物がたちならび、画一化された街がふえてゆくばかり。人々はそのふるさとを意識することができなくなりつある。さらに情報化時代の波に流され、人は類型化されるのではなく思われる昨日である。

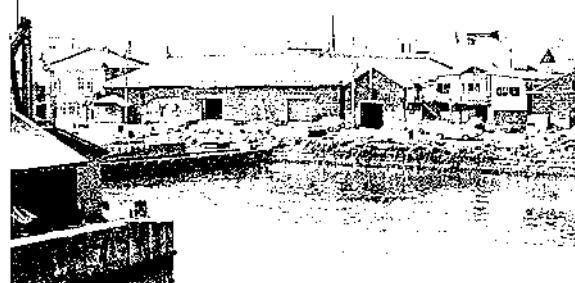
そうした中で、何とか自分等の住むまちの個性を守ろう、とする運動が、ここ数年あちこちで取り組まれている。私共の街小樽は、幸いにも、古きよきたずまいが残されている。

しかし地元に住んでいる人々にとって、ふるさとの意識はない。日常性に埋もれて住みついている者にとって何の感激もなく、ただ忙しさに追われて日々を過ごしている。その日常性の中からあらためて何かを発見することはむずかしく、そのためにはより深い愛情と、すんだまなきしを必要とする。

記録

それだけではない小樽

志佐 公道



自分が、小樽に居ることになつて、早くも三年の月日が過ぎていった。その間、市内で活躍している多くの仲間に接し、語り合つて出来たことは幸せだと思つてゐる。

昨年から行なわれてゐる、「ボートフェスティバル」は、それまで鋼々に活動してゐた仲間が、この郷土である小樽で、より根強く生きて行こうとしている連中の発案で企画運営されたりを、念頭に置いて、より一層強い小樽の郷土意識と再発見をめざしてゐる、カット・カット・ショッターを切つていくことによつて昭和の歴史や小樽の歴史として今を残して行くではないだろうか。しかし、写真に残しておくということは、あくまでも手段でしかないものである。写真は、第二次の世界、物の事実を事実として残した方が、もつとすばらしくなることは、この上ない。写真記録は、第二次でしかなものである。自分が生れた環境を第二次の世界にしか残せ

ないのは、物悲しいことである。そして現在残っている歴史的建造物を、老化や不便だということだけ取り残されるのを見つけてはいけない。それが今できるのは、やはり記録である写真でしかない。利益や便利さだけ

で建られた鉄金の鉄とコシクリにてできた建築には、人間が住み生きて行く暖かさなどは、感じられるものでは、貴、そう自分が小学生のころ書いた絵に、未來の小樽などと題して

最近アームをよんだ豆本「おたる西洋館」に収められた建物がそうである。私共は実は毎日、その建物の前をさりげなく通りすぎていた。買物に、又職場にと急ぐ私共は、そこにある建物の美しさに気付かずに、忙しく立ちまわつて、忙しいとはいへんに亡すと書く、すなわち心を亡していくことである。と言つた人がいたが、全くそのようである。ただくせくと働くことに終始し、無感覚、無感動である。こうした中でこの豆本は、私共に新しくこの街のもつ美しいたずまいをとり戻させてくれたと思う。

又、新聞に街の建物が述載されたり訪れた学者たちによつてこの町のもう価値について示され、あらためて見直したことであつた。

このところ、この小樽のまちになんとなく来て、その魅力にとりつかれ住みついたという人が数多くあるのに気が付き、うれしいことと思つ。外から来てみると、また遠くなれでみると、このまちのもつ特性といふか個性が、あざやかにうつるのだろう。人の心をとらえる街、人間を生かす街、ふりかえりまたたずねなくなる街といわれる人の心をやすめ、やすらぎを与え、そして生きることの喜びを与える街がわが街であるということは、なんとすればらしいことではないだろうか。私共はその街に住んでいるのである。泥くさい人柄ながらんなつこさがあつて、こまやかな人情の街でもある。四季おりおりのながめも美しく、たゞものがまたおいしい。

ふるさとは近くにありて

峰山 富美
小樽生まれ。現在小樽運河を守る会会長。松ヶ枝町在住、主婦。

峰山 富美

それに小樽を支えた先人たちはすばらしい文化を残してくれた。日銀、博物館をはじめ多くの石造建築、運河倉庫群など、まだ数えきれない文化は長い時間をかけてはぐくみ育てられたもの、私共はこれをうけつぐと共有するべき意識を強めた。そしてこの街に住むことのよろこびと誇りをもつて生きたいと思う。それがこの街に生きる、私共の生き方である。そのためにも、大切なものを失つてはならない。運河も倉庫も失つたら一度と戻らない。もつと話し合い、もつと語り合いたい。そして真裏豊かな住みよい街を、私共の手でしっかりとつかみたい。そのためのみんなが恵をよせ合いたい、情熱をよせ合いたい。それが生き生きとしたこのまちの創造につながる、若い人々の活動はめざましい。心からおもてやかにうつるのだろう。人も男も女も、みんなで、この小樽の明日のよりよい街づくり、ふるさとづくりに励んでいきたいと思う。それはこの小樽の町に住む私共の生きる証しとなるふるさとは近くにあって、私共とともに生きる。

見る限りあつた道路、恋しかった高層ビル、それはすべてが夢でしかない。あれこれあつたかもしれない。それから十数年の年月を立ち、今現在のままの小樽が好きだ。そしてこれからもこのままの小樽を残していくたいと誓ふ。

見えるのは、今の環境があつたからではないだろうか。そしてまた数十年後、このままの小樽に住んでいることができるなら、生きた記録として最高な街になるだろう。



北海名産
小樽商

TEL 22-3970

セントラルタウン都通り
TEL 22-1375

御土料理 味久 魚介

北海名産
小樽市稻穂2丁目14番3号
(0134)32-2727~8
営業時間 4:30P.M. ~ 10:30P.M.
定休日 毎週日曜日

僕にとっての小樽

—九州男児の弁—



村上 元哉

プロフィール

大分県生まれ。仙台での大学生
活躍年間、大学では変人で通る。

私は、九州は大分県臼杵市という所の漁村で育つた。今度、初めて小樽というところに北海道を訪れた。そこで、初めて来た訳でなく、やはり暖かい九州の方がはるかに東北より肌に合っていない。北海道に旅する人は九州の知人に多く、「みんな北海道は良かった」と言うし、「お前は東北まで行つてよつち、なんし北海道に一へんぐれ行つちみらんのか」などとよく言われた。

冬は寒いので暖い九州の方がいいし夏は暑いからこそいいんで、何も涼しい北海道に行き事はないなどと思ひ、元来の旅行嫌いよ平成で今まで北海道まで足をのばす事はなかつたのである。

一セントノーミルも雪が積もれば何年振りかの大雪と言つてはいやざまわる地方の者にとつて、積雪一メートルを越すことも珍しくない広大な北海道や、そこに住む人々には段々と感じていた。

大学の研究室での友人が小樽出身であった。それまで小樽と言つても、どこにあるかは知つていてが、何しろ遠い北国の「都市」と書かれてゐるのも珍しかつた。デパートや喫茶店が古風であるし、銀行も西洋風であるし、二十万近くの都市と言つても華やいだ所もなく、何かひなびた印象が強く、特異な街である。私の故郷も、前は海、後ろは山で、斜面に人家がへりついている感じであり、アエリも出るし、港には赤と白の灯台があり、運河はないが河口に多くの船は停泊してゐる。高島へ行く道のように海岸線に沿つての道路はあるし、海を横に見て市街地に入る鉄道も通つており、小樽と随分似かよつてゐる。その意味で、小樽は私にとって確かにどこかで出会つた事のある様な街である。

しかし、小樽の方が人は遙かに多いし、北の激しい自然もあり、のんびりしたといふか、ゆつたりした感じはない。でも、我々が北海道に抱き、また求めるイメージは広大な自然であり、その意味では北海道に来たなあという実感はなく、特に強く視覚に訴える。運河そのものは、見た目は河川とそれほど変わらないし、自分には、「これが運河か」という程度の関心しか示さなかつたが、運河に鳥が多いのは感心した。都市の中心からすぐ近くに海や運河があり、海鳥が舞つており、小樽人が「小樽は良い所だ」という理由もうなづける。人の心をなごませ、豊かな

自分の愛すべき友人や恋人の故郷と言えば、誰しも、たゞえ知らない土地であつてもそれだけで親しみを覚えるものである。逆に、嫌な歎の故郷となれば、何も知らない所にも拘らず憎しみが湧いて来るに違ひない。人は、その育った土地の風土、人間によつて己の人間性に影響を受けるだろうし、その土地出身の何万分の一でしかない個人にとって、その土地全体が判断されることもある。見知らぬ土地で、愛すべき故郷を軽んじられるような行為は出来ないなあとよく思う。

そういう理由で、小樽についてもいくつか知識は得てきたが、昨年の三月十六日(木)11PMというTVM番組で小樽のことが紹介された。石造りの建物、博物館、埠頭の風景等とともに潮太鼓も披露された。

「小樽には独自の文化がある」「小樽は世界の一点である」「どこかで出合つたことのあるもので、しかもどこにもない街」とか「小樽の女はとことん男に尽くす……嫁にもらつなら小樽の女」とか、いろいろ宣伝していた。私は、友人の故郷である小樽のことが知りたいので、興味深くTVMを見ながら必死でノモをとつたものである。

「小樽には独自の文化がある」「小樽は世界の一点である」「どこかで出合つたことのあるもので、しかもどこにもない街」とか「小樽の女はとことん男に尽くす……嫁にもらつなら小樽の女」とか、いろいろ宣伝していた。私は、友人の故郷である小樽のことが知りたいので、興味深くTVMを見ながら必死でノモをとつたものである。

今回、その友人を頼ねて小樽を訪れ一週間滞在させてもらった。小樽の現状、運河の問題、夢の街づくり実行委員会の事等を開き、夢街主催の第二回手作りバザールも見せてもらつた。(落水の水で汚れていたこともあり、私の故郷と同じく特定不況闇地城に指定され斜陽化している)産業の発達のために、自砂青松の海岸線が埋め立てられたのは非常に残念でならない。自然が俗化されていくのは何か淋しい。人に見せる為の自然でなくて手つかずの本当の自然が、故郷のみならず日本に出来るだけ残つていて欲しいと願う。地元の利益、収入等を考えれば何とも言えぬが、小樽はとつても海、山、運河などの自然は、そのまま残しておいた方がいいんじゃないかという気がする。街はうるおつても、何か理路整然とした都市になつたのでは味気ないんじゃないかと思う。

小樽の若者が、自分達の街をより良くしようと夢の街づくり実行委員会なるものを作つて活動することは、大変良いことだと思つた。それで、小樽っ子にとつて小樽は魅力あざかの滞在で、出合つた人は少ないが、小樽の人方が自衛自潔する様に、素朴で良い人情味のある所であつた様に思つた。実際に住む人の心が悪ければ、いつまでたってもその街は好きになれないものである。

ともかく、小樽は私にとって思い出深い所であつた。多くの土地は知らないし、北海道の他の土地はまったく知らないし、一週間そこまで云々言えるものではなき。また、自分は九州男子であり、夢としては暖かく、自然に恵まれた海辺の土地に住みたいと思つており、寒くて人は多い小樽に住みたいとは思ひぬから、ことさら礼讃する気はないが、「小樽はどうだったか」と問われれば、街人情すべてをひつくるめて、「いやあ、なかなかいいところだった」と答えるに違ひない。

さて、今日はソチに行つた時の事を書こう。ソチは黒海沿岸の保養地で、夏には各国からの人々でにぎわう所である。ドイツ人あり、フランス人ありで、おかたいイメージのソ連の中ではひとときお華やかで、白山を感じさせる。街は山々にかこまれ、街中に芝生がしきりめられ木々にあふれ、また古修の海岸線が流き海水浴場となつており、そこでは遊覧者に来た各国の人々が想い思いの本着姿で寝そべっている。その海岸の真正に我々の泊つたホテル

「ブリモールスカヤ」があり、ながめはまさに絶景である。ロシアに来て思つたのであるが、この緑と水辺を大切に愛しつける人々の心には、みなみみならぬ物を感じる事が出来る。あの大都市のモスクワにしても、街の中を大きな河が流れ、人々はそこで魚つりをしたり、水遊びをしたりしてあそび、そのまわりには草木があふれている。レニングラードやキエフなどは、その街の美しさだけで人々を魅了するのに十分である。キエフは深々とした森の中に街があるような所で、レニングラードは街の中に大きな運河が流れる所にかかる細分化された運河が至る所に走つており、そこにおとすれたすべての人々を、しつとりとした落ち着きとやさしさの中に包み込んでしまうのである。

もうここに宿つては、長い歴史に創られた街並みそのものが、人々にやすらぎを与える事が出来るほどである。ソチは街の中には大きな運河が流れる所で、そこから細分化された運河が至る所に走つており、そこにおとすれたすべての人々を、しつとりとした落ち着きとやさしさの中に包み込んでしまうのである。ソチはまたソチにものどるが、我々がホテル「ブリモールスカヤ」の部屋に落ち着き、しばらくしてから泳ぎに行こうという事になつた。社長と小生は日本から持つてきな海パンをはきサングラスなどをして、浮き浮きしながら水辺に向つた。(ほほ、ええながらも)、めじやの、りっぽな体格をしおつておーおーこりやまた小さな水着だこと。感心! 感心! よこよこして、ぶつぶつ言ひながら、社長はもはやこよふんぎみである。まあそれもしようがないで、浜辺では若い女性達が小さな水着を身にまとめて、大股すぎるほどの恰好でバツタバツと倒れているのだ。小生も少々こうふんぎみである。それに較べて我日本女性の細いこと、まさに大人と子供の違いである。

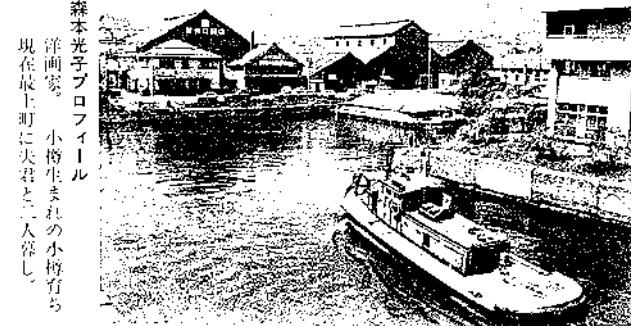
さて等社長を先頭に小生達一行は、池に場所があつてゐるにもかかわらず、一番女性達のこんでいる真中に場所を確保し、まずはひとと泳ぎとサンプル飛びこんだ。情キヤツキヤツとさわぎながらも、自分の方に向つて進んで行き、彼の様に手を動かして進んで行き、彼の様に手を動かして進んで行き、彼の様で、あれは我々がやると手足をいつしょく命に動かさなければ沈んでしまうのだが、なんとその人は何もせずに首だけを出して浮かんでいるのだ。そして自分の行こうとする方向に大きさの様に手を動かして進んで行き、彼の様に手を動かして進んで行き、彼の様で、あれは我々がやると手足をいつしょく命に動かさなければ沈んでしまうのだが、なんとその人は何もせずに首だけを出して浮かんでいるのだ。

そして自分の行こうとする方向に大きさの様に手を動かして進んで行き、彼の様に手を動かして進んで行き、彼の様に手を動かして進んで行き、彼の様で、あれは我々がやると手足をいつしょく命に動かさなければ沈んでしまうのだが、これは船が沈没した時など、この方法で我々の行けない様なのは、はるかな今まで、泳いで行つてしまつたのである。これは船が沈没した時など、水温さえ冷くなれば何キロでも泳いでいく事が出来るかっさ的な泳法で、広く世界に知らしめたいと思う。しかしながら、この泳法には天性のからだつきが必要で、皮下脂肪が10センチ以上なければ出来ない様である。我々が目撃したその人物は、体重10キロ、胸囲り、2メートルぐらいはあるのではサボーターまでして泡をなどいう事はないのである。そこで小生達のようないいのが小さいうえに、海に入つてヨリまつてしまつた男に對つては海から上つてもとても毛むくじやらの肉肉満足のあいだで、あおむけになつて日光浴を楽しむといふ具合にはいかないのである。したがつて、せつかくのソチの10日間をうつぶせになつたまま、背中しか焼けず背中はヒリヒリと夜のベッドまでうつぶせにしか寝れないといふ傷心の日々をすごす事になつたのである。ではではまた来年! (唯)

連載小説 ロシア珍道中

その③

ソチの海岸うつぶせの恐怖



記憶の中の暑さ寒さ

森本 光子

むせかえるような草いきれの中、夢中で木の実を拾い、虫を採つて遊んだ。腋を出ると真夏の太陽の直射が、じりじりと頭髪をさがすような暑さである。しかし、幼い者の生命力は、それくらいのことでのひるむことを知らないかった。川や海での水遊びでは、むき出しの皮膚が黒くこけていくのはまかせた。私はいつない何時から、あの野放団な遊びから過ぎかり、皮膚が黒くなることをさけるようになつたのだろう。兄と一緒に運河に糸をたれて、かにを釣つている幼い姿がまるで童青のようになんと浮んでくる。私の家は海からは遙かたのだから、たつた一度きりのことだったのかも知れないけれど、たしかな記憶として、頑筋をこがす太陽の暑さとともにのみがえる。

何台もの馬車が深く積つた雪道を通るうちに、二本の線が廻くしまつてトレールを引いたようになる。それが夜になると外灯に照らされて、まるで鋼鉄のよう光っている。そのレールに足をとられて、よくすべって、ころんだ。全身に嚴冬の風をまともうけて機を飛ばした日の唐冬をさ寒さは忘れ難い。何故かスキーやスケートの時はまた違う寒さであった。あれは寒さをはね返す活力にはかならないものだつた。

零下何度という寒い日に、飛んでいた小鳥が落ちてきた鳥であつて、いたたぶん弱つていていた小鳥があつたが、子供心には小鳥が死んでしまうやうな寒さが悲しかつた。

朝、窓ガラスに厚く張つた氷を、爪でけずりながら落書きをした。今思えばあれも冬の日の楽しいことのひとつだつた。妙になつかしい。ドンブリにお湯をつなげなければ、水が出ない日には、うつかり素手で鉄の柄をつかむと、びたりと手をとられ、よくあわてた。

Martha&Tarna
20
MELODY-HOUSE

稻穂町1-9-11
TEL 23-7225

コーヒーの香りの中で別世界を……
アンティック喫茶
伊麻里
おたる長崎屋東通りマルゼン2階
0134-33-2340

すぎた日の記憶をたどる限りでは、昔の夏は今よりも暑かつた。そして冬は今より寒さが強かつた。

しかし、考えてみるとどうも自然がそんなに変化したとは思われない。その後のささしまな変化の中で私の方が変わったのだ。

もはや、夏の日の太陽にみるまない活力もなく、寒さの冬は、暖房設備のよくなつた家のなかですごす日が多く、外へ出るよ除雪のゆきとどいた車道に雪の舞い止るのを車窓から眺めて、

ないかという女性であった。小生は、この泳法を「クラゲ泳ぎ」と命名した。小生が、泳ぎにもあきて砂浜の方へ上つて行くと、「何んじや、すっかりちぢんでしまつて影も形もなくなつてしまつたのう。ハッハハハハ」と社長が息子を恵差するのである。「お前も人の事を言えるほどじやないだろうに、まわりはよく見てみろ! と小生、言い言葉で言つたのはいいが、まわりを見ると、おーおーいるいる、りつぱな物を持つたヤツが、毛むくじやらの男達が小生の3倍はあるうか」という物を豪らしげに大また広げて寝ているのである。これにさしもの社長も声が出すにじつとながめているだけだ。わが日本と違うこの肉食獣達は、あさましくも自分の肉体を露骨なまでに強調する。みんな競つてより小さく、薄いパンツをはき、自分の物を女達に譲る。日本の様に厚でのバニニードのようなパンツをはき、さらにその下に

サボーターまでして泡をなどいう事はないのである。そこで小生達のようないいのが小さいうえに、海に入つてヨリまつてしまつた男に對つては海から上つてもとても毛むくじやらの肉肉満足のあいだで、あおむけになつて日光浴を楽しむといふ具合にはいかないのである。したがつて、せつかくのソチの10日間をうつぶせになつたまま、背中しか焼けず背中はヒリヒリと夜のベッドまでうつぶせにしか寝れないといふ傷心の日々をすごす事になつたのである。ではではまた来年! (唯)



滝川からのメッセージ

滝川「河原祭」実行委員会 小黒 弘

小樽の

ホーリーバル

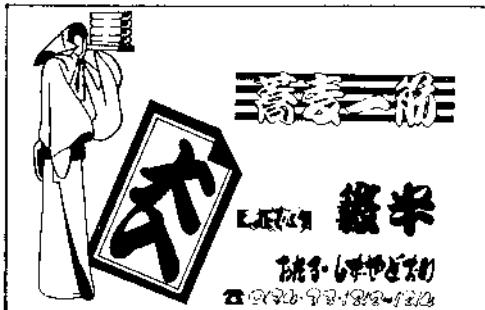
昨年の「小樽ボートフェスティバル」は、いい祭りだったナ。若い者が企画した祭りに、数多く参加したり見物したりして来ただれど、最高だったたゞ、手作りの出店や、篠笛の力わりのロッカーやワターライフコンサルト、ならびっくりはしなかったけれど、物のん達に浴衣を着た親子づれの多かっただのに感激した。そしてもうひとつ、ロットのステージ聴いてみたい年どのうつあん達が、恥ずかしそうに、しかししっかりと、足で地面を踏み鳴らしていた事。こんな豪華競争毎年続いたらいいだろう。しかしこれを小樽に独占させておく手もないと思つた時から、滝川の「河原祭」も始まつていたのです。

今、私達の住む瀬田には金力もないと、若者が本当に参加できる「神祭」があるでしょうか? 確かに瀬田の祭の夜店の明りや、歩行者天国の人並み、それなりの楽しさはあります。しかし非力な若者達が、どんな小さなことでいい、今一番やってみたい事、一番興味のある事を持ち寄って、一步一步、「祭り」を創りあげていけたら、そして日々の暮らしの中をいつのまにか置き忘れてしまつた大切なものを、「祭り」という一つの目的を成し遂げていく過程の中で取り戻す事ができたなら、どんなに楽しく素晴らしい事だろう! そう思つた時から「河原祭」は始まりました。

もう八十年も昔に、私達の先人は夢と希望と祈りを一杯積み込んだ船を、「空知川」に浮かべました。今、私達ははその空知川と空知川が生み落とした、「河原」に喜びの小さな石を投げ入れたいと思います。

この「河原祭」に、多くの若者と、一人でも多くの市民が参加される事を望みます。

最後に我々の愛父を以下の手書きにて託し、忙しい時に迷惑をかけられた、「ふいえすた」に連帯の挨拶とします。
(ちよつと陳腐かす)



とにかく「原風景」

さて、こちらで一河原祭の企画で面白い物をいくつか書いてみましよう。まずは芦知川の川下り。そこで、船の下の時間を利用してした映画会。食い物と蒲団座敷の張った若者達のために、駿馬の有志達が今年度確実にまたばかり手をつぶした、ラムのステーキ（裏手）が運ばれて来た。映画会が連れだって見物に行つた。メソニイ子羊ちゃん達なのであります。が二、浦口ワインの試飲会。ワインとステーキ、なんともリッチな企画であります。このいくつかをマイシに、ロック・フォーレクのコンサート。手作りバザールと楽しい企画が一杯。おいでませ「滝川」へ。

街も我々もゼロからの出発なのだから、俺達のやる事すべては、いつでも勝てるのです。つまり連戦連勝の常勝チームなのです。

今私心そのまゝ...

卷之三

九
七

人は誰なうても運河へも

和
に
と
て
は
心
安
ま
る

夜中
ネオン
ナニ
け
か

卷之三

卷之二

四庫全書

二
一
か
か

おせか
恐れて

四庫全書

卷之二

卷之三

માર્ગ માન

カシカーリカシカ

小樽・銭湯めぐり

玉の湯の巻

穀湯、といふとこんな落語を思い出します。落葉がすぎて勘當された若旦那を二階に居候させている家がある。この若旦那、飽きもせず乾て食べるこしかしない、文空通りの居候。困りり見てた主人は、若旦那を奉公に出すこととした。その先が桜湯という湯床だ。

「女湯もあるかい?」
「そりや女湯もあります」
「うふふふ、いこうよ
「気味が悪い笑い方だな」では手
紙を書きますから持つてらっし
やい」
でなもんで、若旦那、飛ぶようにし
浴湯へ。なんとかして番台に座りた
い。そこは道楽者の若旦那、口八丁
手八丁で……
「どうですか? では、その番台は
どうですか? 番台なう見えるでし
ょう?」
「見える? なにが?」
「なにがだなんでしらばっくれて、
ひとり見て見えて……するいぞ」
とうとう庭した若旦那。ところが、
目当ての女湯には一人の客もいない。
いるのは男湯にも毛むくじゃらの奴ばかり。
「いやだなあ、男つき合いたく

「ないねえ。」そういうながら、あらぬ空想に時をつぶす。若旦那が番台に座わっていると客の女が自分にはれる、という部合のいい言葉夢。そんな夢を見ていると、男の客が、下駄がないとなり込む。「わかりました、わかりましたよ。下駄があればいいんでしょ……じゃあ、むこうの下駄をはいでらっしゃい」「どの？」「もう二つの間の本まさの下駄」「おめえの下駄か？」「いいえ、ちがいますよ」「なんだだと？」「あたしの下駄じやありませんよ」誰か中に入ってるお客様のです「それじやあ、おれがはいて帰つたら怒るだらう？」「怒つたっていいですよ、怒つたら順にはかせて、一番おしまいの人ははだしで帰しますから」



「美男風呂」と「イオン風呂」だつたか、とにかく一種類の浴槽がある。「美男風呂」は、誰でもこれに入っているとハンサムになるからこう銘名したらしく。原理はどうだ。室温が恐らく三十度以上。風呂につかって体を洗う段になると体温は四十度近くになつてゐるに違ひない。毛穴が開く。汗が流れ出る。なめる所と舐む所。鞋間の汚れが汗と一緒に放出される。それを石臼などでこする。スベスベお肌、きれいなお肌になる。

問題の女湯。こゝは見たことがないでわからない。が、声は聞える。おばちゃん、娘さん、女子殿、チビちゃんが汗と一緒に放出される。それが石臼でこする。スベスベお肌、きれいなお肌になる。

玉の湯の財産はやはり客。おもしろいのが多い。風呂賃一ヶ月分まとめてねう姓な兄さんがいるし、古い手前の話を教えてくれるじいさんもいる。なんといっても、みんな気安く話しかけると、ゆで上がるまで答えてくれる。

今、「玉の湯」は改装中でお休みとか。なんでも、駐車場を作る、といふ。そうするといろんなのが来るよ。もしかして、市長が来るかもしれない。山本さんもつかりに来たりして。そうすると、どうなるんだろう？／＼手宮のいい湯屋でなくなつたら、いやだな、と思つ。

お休み

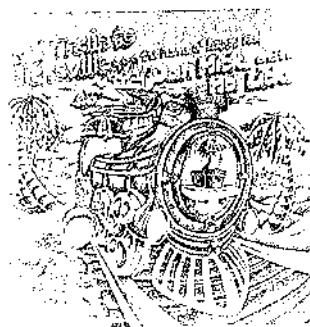
作者急病のため、作者が
近々出す絵本の宣伝をします。

おまけで見る本が
153冊のための本
あります。日本語本。



* 今更何
作る氣附の
だよ?...
どうした?

さるとび
えつちやん



ラスト・トレイン
トウ・ヒックスビル
ダン・ヒックスと
ホット・リックス

感激！
このノースタルジーな雰囲気！
クタつまらない！

何だかさかりのついた猫の様でありますが、それはどこにLPは良いのです。このダン・ヒックスのいう人、「見ぎチガイのよう」に見えるのですが、「本当をそがうだと思つて」なかなかかのニユーヨークでは知る人ぞ知る存在なのです。サウンドは男一人と美女2人のコトラスが、よく、せつなくその中に色々なハロディも含まれていて、酒落した芬闇気を作り出しています。

日曜の朝などに聞くと、その日一日やさしい気持で過ごせそうなレコードなのです。

「カモシカ」



RECORD
RECORD
RECORD
RECORD'S
SPECIAL

近頃ライ・ターダーも、あの名作のチキン・スキニ・ミュージック以来すっかり有名になつてしましましたが、このアルバムはその前作であり、トロピカルサウンドを決定づけた名作中の名作であります。何といってもそのセンスにはただただ頭が下かるばかりでありますて、A面最後の「イツ・オール・オーバー・ナウ」やB面のバー・カラックの「恋するメキシカン」などに至つては、「どうしてこんな風に出来るのじ ろう」とぞしてこんな風に出来るのじ ろう



や／＼などとハラが立つてくる始末です。小生の持っているこのレコードはまだ2年目ですが、すっかりなりつてしまっています。大体この頃は2・3回聞くとすぐ飽きてしまうものが多のですが…

そうをさ、これには「タバコを吸う」方になるとか「結婚する」とダメになるなど、思わずニタツとしてしまう曲があるのぢや！

（社長）



「奇妙な果実」
ビリー・ホリデー

ミューージンヤンに惚れちやうと
一枚のレコードと、ちよつとの写真だけ
で、しばらくいい気分になれる。
といふのは、勝手に想像させてもららう
のです。「认真には出でないけど、
手や足はこんななんだとか、タバコの吸
い方はきっとあんな風だとか……」
そういう意味で、今一番いい気分にさせ
てくれるのが、「ブルースには、サ
ドブルースとハッピーブルースがあり
ます。でも、いつだって同じに歌つ
たことはないわ」と、いう語りで始ま
るこの「レコード」です。



田中研一の世界

彼のレコードは一枚半あるそうで、これはきっと一枚の方。レコード屋さんでは手に入らないとおもいます。欲しい方は連絡下さい。うつな風、何處かへ吹き飛ぶこと請け合います。

田中さんは、いつも大阪で暮らしているのだけれど年に一度くらい、ギターを抱えて明の旅をするのです。小樽にも何度かやってきて、そうしてこの街の人々をすこり気に入れたまゝです。(ほんのくせに大阪の音楽でも寂屋川の温った風が吹む) かび臭い夜の屋もとで唄うのは小樽の町の人達のことで、唄の便りも届きました。尖つているといふよりは面白目な好奇心とほんとは勤勉な足跡を先ずは笑わぬいでいるられないと抜けた話と唄に包んで田中さんは、今年の夏も小樽にやってくるのです。



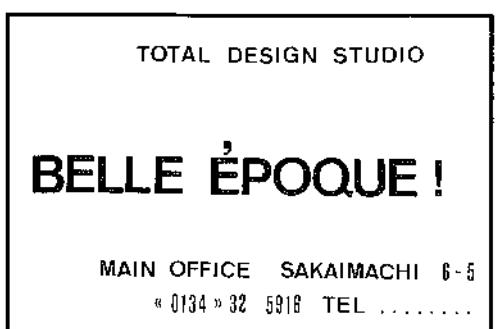
ON STAGE!

- 6/2 Sat 鮮烈のロックバンド「麻耶」 8:00 500円
 6/7 Thi 北方舞踏派 11PM出演
 6/8 ~ 10 北方舞踏派 京都公演「夏至の眼」
 6/16 Sat 鬼才 中山英二トリオ 8:00
1,000円ドリンク付

毎週土曜日は素晴らしいショーが貴方を待っている!
蓮河のそばのナイトシアター
色内2-2-14 TEL 32-2914
珈琲 A.M11:00~P.M6:00
居酒屋 P.M6:00~A.M11:00



3-5-1 HANAZONO OTARU
PHONE 32-6984



TOTAL DESIGN STUDIO

BELLE ÉPOQUE !

MAIN OFFICE SAKAIMACHI 6-5
« 0134 » 32 5916 TEL

良き街 良き時代 そしてこんな 良き人



良き街でやっている、デザイン・フリントショップ「ベル・エボック」のチーフの佐藤純さんは、知る人ぞ知る名ブルース・ギクリストなどのダーニーが前では弾かないやうだけど、今年のホント・フェスティバルには何とかして引きずり出そうなんて思つたがいながらさうだけで、まつたく記者泣かせの人とさうかホント

そこでどうしても気がなつてくるのが毎年の事ながら公衆トイレの汚れが設置されていますが、その実態はもうキャラクターに尽きます。市は何をやっているのか? 市の清掃課にその現状を厳追求しました。市としては、近くのおもだつ公衆トイレは毎日清掃を行なつておりますが、少し駄目な所となると遅延に二回の割合で行なつております。なるほど、するとその汚れ方には市民の使用の仕方に問題がある様です。人は誰でもそううだけ、自分のもの以外となるとどうでもよくなつちやつて過当にしてしまいかね。急いでる時なんて、公園にトイレを見つけるとホツとして近づいてみると、忘れてしまつての悪臭を経験した人は少なくない筈です。

ところでおべル・エボックってどういう意味? って聞いたら、フランス語で「良き時代」という意味だそう。『注・安い辞書には載っていない』。こちらで一発、小樽にも良き時代を作つてやるべか、という佐藤さん以下のスタッフの心意気を表わしているんだつて、なにしろ若者達だけでやつていふので、色々ついてみる。この夏、君もおそれいのアリジナルシャツやトレーナーで、ガールフレンドやボーライ・フレンドと街を歩いてみたいイツヅク! 詳しくは TEL 32-5916へ連絡するとやさしく説明してくれます。

中だけでもう人は少ないやうだ。今回登場してもらつた人は、今若い連続するといつも物語かな佐藤さんは、知る人ぞ知る名ブルース・ギクリストなどのダーニーのJPNさん、と言えば小樽のミュージシャン仲間では知らない人は少ないハズ。いつも物語かな佐藤さんは、知る人ぞ知る名ブルース・ギクリストなどのダーニーが前では弾かないやうだけど、今年のホント・フェスティバルには何とかして引きずり出そうなんて思つたがいながらさうだけで、まつなく記者泣かせの人とさうかホント

INFORMATION 小樽の町を歩くときの生活情報

みだかっただ!!

これから、いよいよ観光シーズン、そこでどうしても気がなつてくるのが毎年の事ながら公衆トイレの汚れが設置されていますが、その実態はもうキャラクターに尽きます。市は何をやっているのか? 市の清掃課にその現状を厳追求しました。市としては、近くのおもだつ公衆トイレは毎日清掃を行なつておりますが、少し駄目な所となると遅延に二回の割合で行なつております。なるほど、するとその汚れ方には市民の使用の仕方に問題がある様です。人は誰でもそううだけ、自分のもの以外となるとどうでもよくなつちやつて過当にしてしまいかね。急いでる時なんて、公園にトイレを見つけるとホツとして近づいてみると、忘れてしまつての悪臭を経験した人は少なくない筈です。

ようこそ小樽へ

伊國屋書店

第一ビル

駄前第一ビルによりつけである、この看板を見て、何か気が古く事はないか。そう、最後の文学。え。に注目してほしいんだ。普通はこの様な場合単語をつなぐ時、え。が、へ。にならなければ、は、らないのだ。小学校の時、教えてもらったんだけど、ナン、それも单語をつなぐ時、え。が、へ。にならなければ、は、らないのだ。駄前第一ビルの商街の人達に聞いてみると、それが、みて初めて、気が付いた。いのでは、親光小樽としてのイメージもさがり、文学通り。え。などと叫ぶ心など、感じられる筈もない。しかし、駄前第一ビルの前に通る時は、この看板に注意しようね!

テニスウェアで郵便局にいたら毎日通っちゃうのに



皆さん、この顔どこかで見た事ないですか。駄前第一ビルの看板娘なんですね。勤め始めてからもうそろそろ2年になるそうで、高校卒業してからも、こんなに勉強しなくちゃならないとは思つても見なかつた。ことは彼女の夫。そういうや、郵便局って、郵便や貯金や保険までやつてあるものね。御苦勞さんです。

毎日忙しいけど、今年から暇を見つけてテニスを始めるそうで、コートの上での白球を追いかける彼女が見られるかも。と思わん方は、貯金でもしにせつてなかな落ち着いた雰囲気だけど、誰か意中の人でもいるのかな? まだどう言うわけなのか。駄前、それもなければ、は、らないのだ。小学校の時、教えてもらったんだけど、ナン、それも单語をつなぐ時、え。が、へ。にならなければ、は、らないのだ。駄前第一ビルの商街の人達に聞いてみると、それが、みて初めて、気が付いた。いのでは、親光小樽としてのイメージもさがり、文学通り。え。などと叫ぶ心など、感じられる筈もない。しかし、駄前第一ビルの前に通る時は、この看板に注意しようね!

FIESTA

お金はないんだけど外出しない! そんな人のために、フィエスタが考えた
GOODS 小樽ヒマツフン夏のテニスコース

+ + + + +

そりやあ夏のテニスコースの特集をするのはイイですよ。でもそれを、自身の小学生にやらせるのは、酷いやない、編集長さん? みーんないちやない、ちや歩くであろう道を一人でみじめたら、歩く歩くなんて出来られないワッタ。絶対いや! と小学生は言ひ張つたんだけど、スタッフ一同の虐待には耐え難く、涙をのんでハサミスたらしく街へ出た。何の気なしに最上線に乗り、何の気なしに終点まで行った。

ふと目に付いた立看板、十二塙谷がオーバー等じやネエか。こちとら横らうが行つてやるべやタ

30分位歩くとカラ松公園がありましたね。ますここで彼女とフリスビード蓮んだら楽しいだろネエ……

長く緩やかな坂を登り切り、バス停から山を下り、旭展望台、天狗山頂への分岐点に出つくわすんだけど、道がいいからつて丸山方面へ行つてはいけない! 道がいいのは、ごく捨て場まで、そこから先は未舗装の狭い道が織横無尽にありこんでいて、小学生は直に迷つて、2時間と20分も時間を無駄にしたのだ。

へバカ! お前が悪い!

賢明な読者諸君は迷わず塙谷への道を行こう。若干道は悪いが広いので、迷う心配はない。

駄前を下つて20分位、道の左側に「伊藤整ゆかりの地」という看板が立つて

小さな小さな駄ですが、いい味で今まですヨ。それから一人で汽車に乗つて小樽駅に帰りましょ。

決して間違つて余市行きに乗らないよう十分注意して下さい。

このコースは特にこれと書いて見物するといった物はないけれど、全体的にカントリーの臭いがするんで、早い話しが、モロ田舎!

野鳥の声を聞きながら、しばし都会の車の騒音でものがれる事ができたらと思います。そうですが皆さん、健康的な愛を育てましょう。

草の香りをぬけて丘にたつと

九
七



あの小樽が生んだスティーハースタジオの本
借屋根多郎君がレコードを出す事にな
りました。題名は「夢の國へ」で
6月21日発売でキングレコードから
シングル盤で600円です。
曲は優らしくシンセサイザーのキュー
ンという音から始まるリズミックなもの
で、歌は、都通りや静屋通り、港、
運河、お祭りなど小樽の夏にふさわし
い若者の感覚で歌い上げています。

-HOT NEWS!

の所を開いてみると、「例の事はないよ。ある日酒をのんでみんなと話しているうちに、それぞれ遊びに対しても得意のジャンルが有る事がわかったんですよ。一人がバント、T.V.ゲームがうまい、一人がカーリルハントがうまい、一人がダンスがうまいと言つたぐらいいにそなつたら、そのプレイをひっくりあめたメンバーバズクラブを作らうじやあないかチユウウ事が、まあ余の結構にいたつんだですよ。」

チラム充りたし♪	13万くらいで買ってくれる方。
スネアードティック	シンバル(金)ジルジヤン
タムタム2つ付	小川康司 入舟2丁目13-21 TEL 27-1993
劇一劇場公演	連絡先 27-0782(夜)
「結婚」 2幕5場	当時30万以上出して貰いました。
原作 山田洋次	小・中・高いそれも可
脚本 木村快	当方 北大生 山利誠
演出 木村快	問合せ
協力 朝間義隆	開演 PM六・三〇 主演 統一劇場とふれあう会 催 喫茶ミレット
世界中に暮す癡佬という若者の中でもうしてその人とあなたは結婚しようと思うのか。	ところ 市民会館大ホール
とき 6月7日(火)	開場 PM六・〇〇
(この日結婚したカップル及びその両親を無料招待いたします。御迷惑下さい)	小・中・高いそれも可

4628

SUMMER-GIRL

港街はトラッドな
風(バ)ツ(ば)

「ソラチな女かふえた
困ったぞ プアな男たち
全世界の注目を集めているのが
色はベージュを中心とした、ベーシック

今や全世界の注目を集めているのが
ニューヨークのアーティション界。
「79春のコレクション」では一派デ
ィラインの復活」と言うテーマが打ち
出されて、特に第一線のデザイナーは
ほとんどが細身のシルエットに、柔ら
かな素材の感覚で、なんどセク
シーなものが大半をしめています。
それではまず尾もとから行きますと
映画「チヤイナタウン」「アイズ」の
フェイダーナウエイやマヌカン達、「旅
情」のキヤサリンヘップバーンなんか
が頗りていた「ハイヒールなパンプス

色はベージュを中心とした、ベーシックな方が色々な洋服に合わせやすいでしょう。

バッグは「機能的な大型バッグ」で細い仕切やポケットのついたもの、ボンチ付の物など便利になっていて、是非一つは持つておいて欲しいですね。さて、一番大事を洋服ですが、これは沢山の雑誌やポスターで見られるのですが、とにかくその時その場所によつて着こなせばこれが一番という事です。被とホテルのレストランで食事をするにはスーツかワンピース、喫茶店

TORTAL FASHION LIFE STUDIUM

MIKI SELECTION

PRODUCED by MIKI PROJECT

日々うまい麺づくりに努力する

吉田製麺

豊川町2-4 ☎ 22-5517



10 of 10 pages

はうまいと頭を下げるとか下げるとか。
評判の味どころ、北あじにおじやま

まち・みせ・あじ

北あじ



肉談直擊



たくて、「マスターの得意とするところは?」「やはり揚物と味つけ、そのところは、誰にも負けない自身をもつています。」ときどきりきった。
さすが修理人。
それでは私も取材にかけつけて揚豆腐などひとくち…………うん、やっぱりうまい! カラッとした揚げり合いと、まつたれのからみ食合といい、まつまつもつて恐れ入ります。揚物は、すべて二度揚げしてあるので魚なんか、惜までしやぶれちゃうんだ。
ちよどこの日も、お客様んでびしりジム」という油のはね上がる音とともに店内に響きわたっていました。場所、浮世通り中通り

ラバードとあくつて見ました。(えー、) 小樽にもこんなぞモシリオイ稚哉があるのかと思ひ、感心して大枚30円也を手にたいて買ったのだ。本は薄っぺらいが中身は仲々良いので感心した。特に、「運河公園構想」批判というのが良かれた。大して運河には感心がなかつたがちか頃マスコミで大いに取りあげられてるので面白かった。ただ印刷のミスが多いのには閉口したが、それからも頑張つていい本作つて下さい。次号期待して下さる。

お答え▲
ボートファスティバルやります。
ロングコンサートやるよ。
要望に答えて、今号は最上線や
りました。インフォメーション
頑張って、間に合うようにしま
す、ゴメンなさい。

ノボリを立てて
幻の小屋掛け芝居がやつて来る!!

PICK UPS

「夜行船は、見せ物小屋である。船内に穴掘り、丸太を建て、小屋を作り芝居をする。役者たちは、本年作古亭吉左衛門の上を駆け廻り、巨大な小屋があるある出来ていくさまは壯観だ。守鏡丸のお姿ちゃんは、これを見た年寄りが五年は寿命が延びる位いめでたい。その他見せることに徹した役者たちばかりだ。そして芝居が終った後には九太郎の跡さえ残さない。芝居を見た年寄りは、長生きしてよかつた」といふ。子供はやがて十年後、二十年後にふと、幼ない頃の記憶に残っていたあの芝居小屋は夢だったのか現実だったのかと首をかしげるだろう。夜行船とはそういう劇団だ。お芝居ではない河原者だ。丸太の跡々のひとつひとつにその血が、跡々と生き返る」

水天宮境内で行なわれる、小樽初開の出し物は、能原茂米新作書き下しの「龍偶童女」。千石船が往來し廻しをさわめていた頃の日本海の漆を背景に、人買ひの手では子離散をさせられ、丹後人山根太夫によつて悲惨な死をとげる筋を特許伝説「さんしょう太夫」の安房歴を素材とした作品。娘を人買ひに売った詠母と、救い出されて一夕語り唄い舞うくつ童女となつた娘のどうどろしたやりとりがくり広げられる、海を背景にした今回の芝居の初演が、海を見下ろす水天宮の境内で行なわれることになつたのも一つの縁であろう。

積んで、三年がかり四十キロに及ぶ
小屋掛け種族の血脈授り。河原巡礼
旅の記録が「巡礼記」一四四回から津
軽へ(篠原茂木著)として日本放送派出
版協会より出版されているので
是非読んでもらいたい。
彼らの芝居にかける激しい血があふれ
ている。



ふいえすた・小樽

発行所／小樽夢の街づくり実行委員会

発行責任者／原田佳幸

写真／広告のアンセン

印刷所／米沢印刷新業株